

解答

- 問一 「なぜ、こ
問二 ① 記者があちこちの小中学校を回り、ニュースや新聞づくりを解説する授業をするもの。
② 生徒に現実の社会を理解してもらうこと。
問三 気負って遺書まで書いて取材に臨み
問四 二〇〇六年九月頃 / 二〇〇六年十月頃
問五 泣いている子どもの涙にハエがとまっている写真
問六 イ

二

問一 それで学校に行

問二 イ

問三 A ア B エ C イ D オ E ウ

問四 ア

問五 ウ

問六 得意がって人にお節介を焼いている暇があるくらいなら、謙虚な気持ちで立派な人になるよう勉強することが大切だということ。

三

問一 ① 猫 ② 猿 ③ 馬 ④ 虫 ⑤ 鶴

問二 ウ

問三 イ

問四 風の便り

問五 エ

問六 うかがった

四

1 故郷 2 憲法 3 衛星 4 暮 5 態勢

五

1 もと 2 じゃり 3 そっせん 4 むく 5 し

解説

二

問六 この物語を通して作者が読者に伝えたかったことは、物語の最後のきつねの言葉の中にあります。主人公は、「自分はどうしてこうりこうなのだろう」「世間のやつはばかだな。」などと高慢になっています。しかし、実際にきつねにばかされていたのは主人公の方でした。思い上がって人を見下したり、余計なお節介を焼いている暇があれば、「自分ほどばかなものはない」という謙虚な気持ちで勉強し、りっぱな人間になることが大事だと説きます。